

第47回 『ネザサ伐採、ジャガイモ掘り』

と き 2013年3月9日(土) 9:30 - 18:00

ところ 谷っ戸ん田、瀬谷の園主の畑

天 気 晴れ 最高気温22℃

参加者 石田・秀、佐々木(利)(AM)、梅下・日菜・浩・二郎、坂本(AM)、高田(直)(AM)、松下
計9名(子ども4人)

【午前】

・9:30 谷っ戸ん田に集合(一部直行)し、刈り払い機、鎌、シャベルを持って、瀬谷の畑に向かう。
本日の瀬谷の畑での作業は今年2回目。

・現場に着くと、まずジャガイモ掘りを全員でスタート。最初、手で掘り始めたが、蔓が枯れており、しかもジャガイモが20cm位と深めで土も硬いため、シャベルを併用。

・30分くらい作業をしていると園主と和久さんがダンプトラックと軽トラで登場。

刈ったネザサを束ねて谷っ戸ん田に持ち帰るとのことなので、男性陣は先回刈り倒したままのネザサを束ねる作業に取り掛かり、女性&子供はジャガイモ掘りを継続する

●ジャガイモ掘り

残りの4畝を女性&子どもで手分けして掘りはじめる。なかなか思うように列になく雑草がすごいので刈りながら進める。収量が少ないとまだあるのでは?と掘り返し、時間がかかったが約2畝終了した。

●ネザサの束ね作業 ネザサは数か所に固めて置いてあるが、バラバラ状態なのでまず方向を合わせてから適当な太さに束ねる作業を実施した。脇の水路が詰まって溢れた水が畑に入り込み、ネザサ周辺に水たまりができ作業しづらい中、水路浚いを実施する一方で、黙々と束ね作業を実施。先週分のネザサを整理し終わると、新たに伐採作業を実施した。

男の子達は、広い畑地で野球に夢中、お母さん手伝ったのは日菜ちゃんだけでした。

【お昼】少し離れたコンビニに買い出しに。昼で3人帰ったため、戦力は半減。

【午後】

●ジャガイモ掘り 梅下さん1人で孤軍奮闘。

広い空の下、野球に打ち込む少年を横目に母と娘(限界?まで...)は黙々と掘り続ける。スコップやシャベルでは芋を刺してしまう事もあり、併用したが手で掘るのが良いのだろう。ジャガイモ掘りは意外と大変なんだと実感したが、美味しそうなお芋が出てくると嬉しい。結局少し掘り残しになってしまったが米袋に2袋半の収穫だった。

●ネザサの束ね作業 2mを超えるネザサが風で煽られるため、根元を揃える束ねる作業は手間がかかったが何とか終了させ、ダンプトラックに積むために道路際まで移動させた。一抱えもある束はかなり嵩張って重く、最初は、トラックへ全部積むのは無理だろうと思ったが、全部積むことができた。

15時30分頃作業終了。園主のご好意でほうれん草を収穫させていただき、現地解散。

その後谷っ戸ん田に戻り刈り払い機を倉庫に仕舞い終わったが、園主と和久さんが二人で、谷戸奥に造成中の畑周囲の暗渠溝にネザサの束を入れる作業をしていたため、石田さんと共に手伝った。ダンプトラックが最奥部まで入れず、坂の途中に降ろしたネザサの束を畑の奥まで移動させる作業はかなりタフな作業であり、ここでは、秀くんも手伝ってくれました。結局、6時過ぎまでかかって移動し終えたところで、二人を残して帰宅した。

(記録:梅下、松下)